

【参考資料】 同友会の基本理念「自主・民主・連帯」の深い意味と日常実践の課題

	自 主	民 主	連 帯
第 一 層 (会内でのあり方)	入会も退会も個人の意志決定による	ボスを作らない . 全ての会員が主体者	個人個人が尊重される 団結
第 二 層 (社会との関係)	自主性を損なうような特定の関係を排除	民主的ルール尊重精神の一般化	中小企業の地位向上に他団体とも協力
第 三 層 (本来的深い意味)	<p><b>個人としての尊厳性を尊重されねばならない</b>と云うのが最も根元的な意味である .</p> <p>人間はそれぞれ「かけがえのない人生」を生きている . それだけでも個人として尊重されねばならない .</p> <p>(それは、同時に個人の可能性の尊重をも重視すべき事を示している)</p> <p><b>個人の可能性の追求</b> 全ての人間は、なんらかの可能性を持って生れてきている . その可能性を見つけだし、どれだけ伸ばしきるかも、人間らしく生きる充実度の重要なポイントになる . これを「<b>題名のない伸縮自在の袋</b>」<sup>1</sup>と名付けている .</p>	<p><b>生命の尊厳性の尊重にその根源がある .</b></p> <p>人間の命の重さに軽重はない . 全ての人間の命の重さは同じである .</p> <p>そこから、 「<b>平等な人間観</b>」が生れ、更にそこから、<b>平等な立場での参画</b>と云う意味で、<b>1人1票</b>という<b>民主主義の投票原則</b>が生れてきた .</p>	<p><b>人間の社会性の尊重</b></p> <p>人間はある時から、群(むれ)を維持する事により、生きることをより確かにしてきた . そうした数十万年以上の体験が、協力することの重要さの認識を基本的な行動様式としての社会性として身につけてきた .</p> <p>「<b>人間的信頼関係に立つ、当てにし当てにされる関係</b>」が成立し深まるほど、<b>集団(家族、企業、サークル、社会など全て)</b>は安定し、<b>集団としての力も強まる</b> . <b>究極の課題は、地球環境の保全・世界平和・民生全体の向上である .</b></p>
第 四 層 (第三層の意味の具体的実践の形)	「 <b>人間らしく生きる</b> 」 ことを具体的に追求すること	「 <b>生きる</b> 」 生理的にも、 <b>経済的にも</b> 命を守る .	「 <b>くらしを守る</b> 」 自助努力と共に、 <b>社会的連帯の重視</b>

<sup>1</sup> 「経営理念」赤石義博著 . (2003年改訂版 . 鉾脈社刊) 第一章三節及び第二章を参照下さい .